

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 飛島村商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価			今後の展開・改善点等					
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤が脆弱な小規模零細企業を中心に、職員が直接事業所を訪問し、国・県の施策普及を図るとともに、金融・税務・労務等経営全般の相談について応じ、経営基盤の強化を図り、健全な企業を育成することを目的とする。また、経営発達支援計画に基づき、経営分析・経営計画策定・経営革新等への積極的支援を行い、地域経済の安定的発展を目指す。	・巡回相談 延件数 171件 実企業数 71社 ・窓口相談 延件数 344件 実企業数 120社 ・課題解決提案件数 12件 ・先端設備等導入計画認定数 2件 ・事業継続力強化計画認定数 1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 103.0 %)			指標 課題解決提案件数 (達成度 120.0 %)			伴走型の支援を行うことで小規模事業者の持続的発展につながり、先端設備等導入計画の認定など施策の活用につながった。また、専門家派遣事業を活用した専門的・高度な相談指導により、職員の資質向上にもつながった。		総合評価 B	事業実施側の評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	事業計画策定など専門的・高度な相談が増加してきており、相談件数よりも指導内容に重点を置いた支援を行う。
				B	B	現行どおり	現行どおり													
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②													
目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	A	B	現行どおり	現行どおり									
記帳継続指導	個人事業主を対象に、正しい記帳方法と税務知識の周知徹底を図り、決算・確定申告の指導を行うとともに、計数に基づく自主記帳の促進を図り、経営力の向上に結びつける。	・指導対象者数 24人 ・指導延日数 143日 ・指導延回数 270回	小規模事業者	指標 記帳機械化事業所数 (達成度 104.3 %)			指標 記帳指導延回数 (達成度 96.4 %)			記帳機械化を推進することにより事業者の記帳事務に費やす時間の短縮につながり、事業の効率化を図ることができた。		総合評価 A	事業実施側の評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	廃業により記帳機械化事業所数が減少するため、積極的な勧誘を図るとともに指導回数の増加に努める。
				B	A	現行どおり	現行どおり													
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②													
目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	A	B	現行どおり	現行どおり									
講習会事業	高度化・多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務等の知識の習得や経営計画作成セミナーを開催し、小規模事業者の課題解決を図り、事業者の資質向上と円滑なる事業運営に資することを目的とする。	飲食業者・理容業者を対象とした業種別講習会:2回、参加者数延27名 消費税軽減税率対策セミナーの共同開催:3回、参加者数延11名 その他商工業者に関する経営等の集団講習会:5回、参加者数延75名(うち4回 海部南部地区商工会での共同開催 1回 海部支部での共同開催) 税務・労務相談を中心とした個別講習会13回、参加者数延50名	小規模事業者	指標 講習会参加延人数 (達成度 108.7 %)			指標 (達成度 %)			専門家による個別相談(税務・金融)により事業者の抱える問題を解決することができた。また、各種講演会により事業者の意識改革、経営のヒントにもなり、事業者の資質向上、円滑な事業運営にもつながった。		総合評価 A	事業実施側の評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	タイムリーな話題の講習会を実施するほか支援者を絞り込んだセミナーを開催し、小規模事業者の課題解決に役立たせる。創業支援等事業計画の認定に基づく創業セミナーを開催する。
				A	A	上げる														
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②													
目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	A	A	現行どおり										
若手後継者等育成事業	若手後継者を中心に経営者として必要な知識を取得し資質の向上を図るためセミナーを実施する。全国の青年部の指導的地位にある部員が、一堂に集まる大会に参加することにより、地域のリーダーとしての自覚を促し、後継者・経営者としての資質の向上を図り、今後の活動の活性化につなげる。	・ビジネスマナー実践研修会 開催日:10月24日 テーマ:当たり前とおもっていたマナーは本当に正しかったのか 講師 榎おもてなし道代表取締役 山田 千穂子 氏 受講者数:9名 満足度:100% ・補助金・助成金活用セミナー 開催日:1月14日 テーマ:「知らない」と損 知っている人は使っている 補助金活用セミナー」 講師:㈱タスクールPlus代表取締役 渡邊 智浩 氏 受講者数:4名 ・商工会青年部全国大会への参加 開催日:12月4日～5日 開催場所:名古屋国際会議場 参加者数:6名	小規模事業者	指標 セミナー参加者数 (達成度 65.0 %)			指標 セミナー受講者の満足度 (達成度 142.9 %)			ビジネスマナーを体系的に学んだことで、改めて気づくことが多く、経営者として恥ずかしくない立ち振る舞いを身に付けることができ、今後のビジネスに生かされるものとなった。補助金・助成金セミナーは今後のスケジュールや一覧表を基に具体的な説明があり、参加事業者ごとに活用できる助成金・補助金の紹介がありイメージが膨らんだ。セミナー終了後、1事業者より助成金申請に向けた相談を受けている。全国大会への参加については、全国規模の大会に初めて参加し、他地域の青年部員と交流を深めたことで、多いに刺激を受け事業運営に生かされると期待できる。		総合評価 A	事業実施側の評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	後継者・地域のリーダーとしての資質向上を図るための事業を実施する。参加者を増やせるように、内容や開催時期などを検討すると共に、周知方法等の多様化を図る。
				A	B	下げる	現行どおり													
				目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②													
目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	A	B	現行どおり	現行どおり									

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 飛島村商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価			今後の展開・改善点等						
祭典事業	村などが主催するお祭りに共催、その集客力を活かし、地域産業(地域資源)のPR機会とし、地域の活性化を図るとともに、商工業者の発展に寄与する。	とびしま夏まつり(令和元年8月3日開催)にてお楽しみ抽選会(特1等～4等;68本 特別賞10本)を企画・運営。串カツ・ともろこしなどのバザーを実施し、会場を盛り上げた。	村内在住・在勤者(小規模事業者へ商工会の存在のPRになる)	指標	来場者数 (達成度 100.0 %)			指標	達成度 %			地域住民に商工会の存在をアピールする場となり、今後の地域振興を行う基礎づくりができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	事業者への満足度	補足	目標①	目標②	行政及び関係団体との連携を一層強め、創意工夫により更なる活性化を目指す。
				目標数値	1,500	実績数値	1,500	目標数値		実績数値					A	事業者への必要性	A		現行どおり		
				指標	参加企業数 (達成度 98.3 %)			指標	達成度 %			商品券の発行により、消費者需要を喚起、個店の売上アップ、商業の活性化につながった。街路灯の維持管理により、魅力ある商業環境づくり、防犯にも役立つことができた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	事業者への満足度	補足	目標①	目標②	来年度も村補助金により、商品券(総額1,100万円、プレミアム率10%)の発行とすこやか商品券事務を受託する。街路灯の維持管理に努める。
				目標数値	120	実績数値	118	目標数値		実績数値					B	事業者への必要性	B		現行どおり		○
				指標	各種事業への参加者数 (達成度 57.8 %)			指標	達成度 %			地元特産品、事業所のPRを行うことで、知名度アップが図れた。また、商工会自身のPRにもなり地域産業の活性化につながった。会員交流会は情報交換の良い機会となり企業の経営基盤の強化に繋がった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	事業者への満足度	補足	目標①	目標②	飛島村観光交流協会とも連携を図りながら村内事業所のPRを図る。
				目標数値	45	実績数値	26	目標数値		実績数値					B	事業者への必要性	B		現行どおり		○
				指標	施策普及資料の種類 (達成度 88.9 %)			指標	達成度 %			施策普及資料などを活用した広報活動により、事業継続力強化計画や先端設備導入計画の認定に結びついた。また、商工会活動や商工業施策などの情報発信により、経営情報の取得・経営力向上にも役立った。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	事業者への満足度	補足	目標①	目標②	期日が短い情報が増加しているため、資料の作成に加え、ホームページ・村広報などを活用し、スピーディに周知ができる体制づくりを行う。
				目標数値	9	実績数値	8	目標数値		実績数値					A	事業者への必要性	B		現行どおり		○
				指標	検定受験者数 (達成度 51.7 %)			指標	達成度 %			ネット採用ページの作成セミナーにより、コストをかけずに求人を行い、人手不足解消に役立った。また、珠算能力の向上と将来の地域を担う青少年の人間形成と商工会のPRが図れ、地域と一体化した円滑な事業活動の促進につながった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	事業者への満足度	補足	目標①	目標②	各種検定事業に引き続き取り組み、海部商工会選抜珠算競技大会に参加する。少子化に伴い受験者が減少していることから目標を下げる。また、他の支援機関と連携しながら小規模事業者の人材確保をサポートする。
				目標数値	60	実績数値	31	目標数値		実績数値					B	事業者への必要性	B		下げる		○
															C	事業者への必要性	B		現行どおり		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 飛島村商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考					
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価			今後の展開・改善点等				
青年部・女性部事業	地域の担い手である青年部・女性部員間の交流や社会福祉活動を通じ、地域貢献を図り地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	<p>青年部 総会をはじめ、部員間交流事業、チャリティゴルフ、夏まつり・体育祭バザー、社会福祉活動としてもちつき体験・試食など14回、延128名、参加実人数21名 県青連主催研修、主張発表愛知県大会、海部支部講演会など19回、延51名が参加</p> <p>女性部 総会をはじめ、夏まつり・体育祭バザー、会員研修会、講習会、文化祭出品など12回、延115名、参加実人数20名 県女性連主催研修、海部支部研修・講演会など13回、延34名、その他全国大会、中部ブロック研修会、県女連理事会にも参加した。</p>	青年部・女性部員	指標	事業参加実人数 (達成度 91.1 %)			指標	事業参加実企業数 (達成度 %)			事業を通じ、部員の資質向上が図れ青年部・女性部のPRにつながることで、商工会の事業運営が円滑に行えた。また、部員間の交流や社会福祉活動によって、地域社会の発展にも寄与することができた。	総合評価 B	事業実施側の 自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	目標①	目標②	地域活性化には若手後継者や女性の力が不可欠である。円滑な事業承継を指導すると共に、今後も資質の向上や組織強化につながる事業推進に力を入れていく。
				目標数値	45	実績数値	41	目標数値		実績数値							目標①	目標②	
部会・委員会事業	会員を商業・工業等業種別に分け、各業界の発展のための情報交換や各種事業を行うことにより会員間の親睦を図り、参加企業の発展に繋げ、地域振興やまちづくりにも寄与する。	<p>商業部：総会、役員会、会員研修会、体育祭バザーなど6回、延88名、27事業者が参加</p> <p>工業部：総会、役員会、異業種懇談会、会員研修会、体育祭バザーなど10回、延103名、24事業者が参加</p> <p>食品衛生部：総会、役員会、食品衛生セミナー、自主検査、ふきとり検査、検便(春・秋)、体育祭バザーなど13回、延131名、25事業者が参加</p>	商工会員	指標	事業の開催回数 (達成度 96.7 %)			指標	事業参加実企業数 (達成度 84.4 %)			研修会や懇親会を通じ、会員の交流によりネットワークづくりが図れた。各業種における経営課題に対し、適切な解決が図られたほか、食品取扱事業者にとっては検便・セミナーを通じ、衛生管理の充実にもつながった。また、各部会ともにバザーなどを通じ、地域社会に貢献することができた。	総合評価 B	事業実施側の 自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	目標①	目標②	経営力向上につながるアイデアやヒントを得る機会となるよう、実務に活かせる研修・講習会事業を充実させる。
				目標数値	30	実績数値	29	目標数値	90	実績数値	76						目標①	目標②	
福利厚生事業	中小企業、とりわけ小規模事業者の雇用の安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の福利厚生を支援することにより、健全な企業の育成に資することを目的とする。	<p>小規模企業共済(43件)倒産防止共済(4件)中退共(2件)特定退職金共済(52名)中小企業共済(122名)その他共済制度(67名)の普及推進に努めた。</p> <p>コロナ優待券配布(2枚)長島スパランド入場補助(596枚)雇用安定のための集団健康診断(30名)を実施し、小規模事業者(実41事業所)の福利厚生を支援した。</p>	小規模事業者	指標	福利厚生利用実企業数 (達成度 82.0 %)			指標	事業参加実企業数 (達成度 %)			共済事業については、小規模事業者の方が一に備えた保障としての役割を果たせた。集団検診により事業主の健康管理責任が果たせ、従業員の福利厚生の充実につながり、事業所の健全な経営と、雇用の安定・発展に資することができた。	総合評価 B	事業実施側の 自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	目標①	目標②	自己財源の確保、事業経営の安定のためにも引き続き実施する。事業がマンネリ化し利用企業数が減少しており目標を引き下げることができよう魅力あるものとする。
				目標数値	50	実績数値	41	目標数値		実績数値							目標①	目標②	
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険の煩わしい手続きを代行する事務組合を設置運営することにより、事業主の事務負担の軽減を図るとともに、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な申告納付を図ることを目的とする。	事務委託を受け、42事業所の雇用保険資格取得・喪失、労災保険の給付手続き等事務処理97件を行った。労働保険の適用促進と事業主の事務負担軽減を図り、適正な労働保険料の徴収指導を行った。	労働保険適用事業者(小規模事業者の企業カアップに役立つ)	指標	委託事業場数 (達成度 102.4 %)			指標	事業参加実企業数 (達成度 %)			労働保険の事務処理の軽減並びに労働保険給付や労災保険への特別加入など通じ、安心して事業を行えるための支援ができた。	総合評価 B	事業実施側の 自己評価 B	調査結果 事業者への 満足度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	目標①	目標②	引き続き事務組合を設置運営し、事業主の事務負担軽減を図る。特別加入等の事務組合加入のメリットを説明し、加入勧奨に努める。
				目標数値	41	実績数値	42	目標数値		実績数値							目標①	目標②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 飛島村商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等			
				指標	実績	達成率	指標	実績	達成率		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①
青色申告会・法人会事業	青色申告会、法人会等税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一役を担い、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会：総会、役員会、記帳指導会、視察研修会、体育祭バザーなど13回、延104名、実企業数25社が参加 法人会：総会、役員会、異業種交流会、視察研修会、つり大会、体育祭バザー、ねんぐ村出店など12回、延90名、実企業数16社が参加	青色申告会員・法人会員(小規模事業者の発展・活性化につながる)	指標	事業への参加実企業数 (達成度 82.0 %)	指標	事業の開催回数 (達成度 125.0 %)	地域商工業者が加入する法人会・青申会の事業支援と運営協力を通じて、正しい税務知識の取得と納税意識の向上により、地域社会に貢献し商工業の活性化に資することができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A B	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 上げる 実施方法② 現行どおり	会員数の減少にともない参加目標数は引き上げるが、事業を充実させ実施回数は引き上げる。引き続き事業活動をサポートし、商工業活性化を図る。
産業団体事業	各種団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一役を担い、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	建設業組合(一人親方労災保険事務手続等)50名、飛島村災害協力会(村主催の防災訓練での非常用物資・飲料水の搬送、カープミラーの点検・清掃、家具等転倒防止器具取付事業への参加・協力)24名、酒組合等(事務代行など)5名の事業運営に協力、参加した。	たばこ組合・酒組合・飛島建設業組合・飛島村災害協力会(小規模事業者の発展・活性化につながる)	指標	各種団体の構成員数 (達成度 98.8 %)	指標	事業の開催回数 (達成度 %)	建設業組合など各種団体の事業運営の活動をサポートし、事業運営に協力することで会員企業の体質改善と地域活性化を図ることができた。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 B B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	引き続き、地域経済の活性化に資するため、諸団体の事業について助言・支援活動を積極的に行う。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。